

水回りと収納を3つの箱型に収め、フリースペース内に分散配置した点がユニーク。水回りの位置を変えていない点は、既存住宅の特性を生かした処理として参考になる。行き止まりがない動線が様々な効果を生み出し、今後の住まい方変化への対応に興味がある。

リフォーム前後の写真



①リビングよりキッチンを見る
シナ合板張りの壁とコンクリートの表情を活かした天井塗



②ダイニングよりリビングを見る
キッチンで家事をしながら家族やゲストとの会話を楽しめる



③寝室より玄関を見る
可動間仕切りを閉めると独立した寝室となる



④アトリエよりルーフバルコニーと玄関を見る
玄関から靴のままアトリエを通ってルーフバルコニーへいける



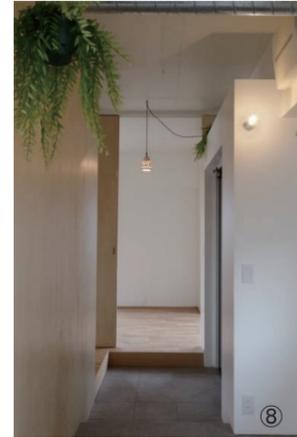
⑤ギャラリースペースからリビングを見る
造作の棚に好きな本や絵を飾って暮らしを彩ることが



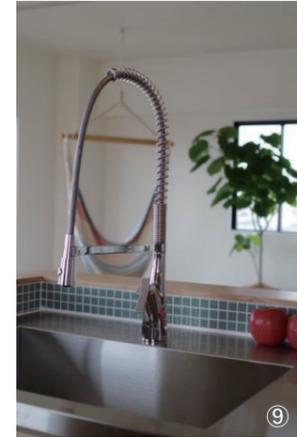
⑥ギャラリースペースからアトリエ、リビングを見る
2枚の引戸を開けると独立した脱衣室となる



⑦路地のような空間



⑧



⑨



⑩大工の手による家具化した壁

【リフォーム前・工事中】
一旦スケルトン状態とし、コンクリートクラックの補修、窓周りの防水施工、劣化した給排水管等の撤去などを行った。



【セルフリノベーション】
施主とその友人の手により、壁の塗装とキッチンのタイル張りを行った。コストを抑えながら、住宅に愛着を持つことができる。



リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

アトリエ付の住宅という職住一体のライフスタイルにあった場所とするため、建築的なコンセプトを念頭に置きつつ物件選びをした。1フロアに1住戸という特殊な条件を活かして、平屋のリフォームをするような感覚で、マンションでありながらも内と外の関係が生まれるプランとした。

スケルトンとなったワンルームに大きな家具に見立てた3つの箱を置き、その余剰空間に様々な生活スペースを構成していった。アトリエは玄関とルーフバルコニーを繋ぐ通り土間

の様な役割を果たし、空間は繋がりがつつも上下足の切替とレベル差で職住空間を分けた。3つの家具は、ずれながら配置されているため、空間を緩やかに繋げつつ住戸内に外と繋がる奥行きを生み出している。

リフォーム後は一日中日当たりや風通しが良いだけでなく、行き止まりがないため家事動線が効率的で快適な生活を送っている。基本的な性能向上だけでなく、既存住宅がもつ特性を十分に読み解くことで、空間の質や暮らしの楽しさを向上させることができた。

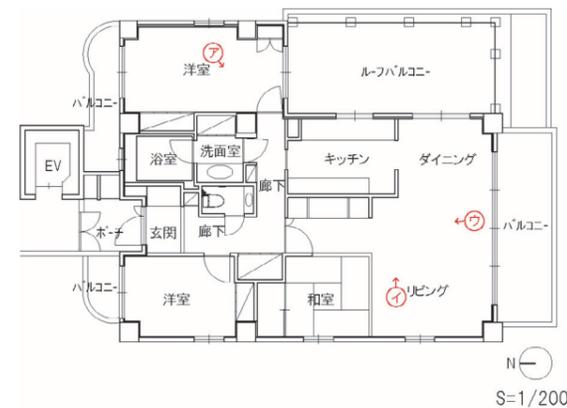
性能向上の特性
防音・遮音性能、温熱性能、耐久性能、室内空気環境

特に配慮した事項
遮音等級LL40のフロアシステムの上天然木無垢フローリング仕上げ、吹付断熱の施工、窓廻りの防水施工、設備配管の更新、自然素材の仕上げ材への交換、LED照明の採用など

データ

所在地	愛知県名古屋市中区	築後年数	25年	施工期間	90日間
該当工事床面積	92.51㎡ / 総工事床面積 92.51㎡	該当部分工事費	1250万円 / 総工事費 1250万円		
居住者構成	65歳以上：0人、15～64歳：2人、15歳未満：0人、ペット：-				

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



リフォーム部位：■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ □階段/ ■玄関/ □クローゼット/ □マツヨリ共用部分